

令和4年2月4日
(公財) 東京都人権啓発センター

令和3年度人権啓発行事
シンポジウム「ポストコロナ時代の人権教育・人権啓発とは」の
開催方法の変更について

公益財団法人東京都人権啓発センターでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を経て人権意識が高まるなかで、人権教育・人権啓発をより前進させるため、その現状と今後の展開を検討するシンポジウムを開催いたします。コロナ禍は人権をめぐる状況に大きな影響を与えています。本シンポジウムでは、ポストコロナ時代を見据え、国連「人権教育世界プログラム」第4段階(2020-2024)のターゲットが「若者」であることを念頭におきながら、「子ども・若者」にテーマを絞り、今後の人権教育や人権啓発の指針を探ります。

なお本行事は、会場参加とオンライン(ライブ配信)で実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止の観点から、無観客で実施のうえ、YouTube(公財)東京都人権啓発センター公式チャンネルでのライブ配信のみで実施することといたしました。

1 名称 : 令和3年度人権啓発行事
第2回 シンポジウム「ポストコロナ時代の人権教育・人権啓発とは」

2 開催日時 : 令和4年3月5日(土曜日) 午後1時30分から午後5時まで

3 開催方法 : YouTubeにてオンラインライブ配信

4 出演

(1) 基調スピーチ(事前収録)

オードリー・タン氏 台湾デジタル担当政務委員(閣僚)

「人権尊重社会のためのデジタル・ソーシャル・イノベーションとは」

(2) パネルディスカッション

「社会を担う子ども・若者の人権：現状と課題」

[コーディネーター]

坂元 茂樹氏 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長、神戸大学名誉教授

[パネリスト]

甲斐田 万智子氏 文京学院大学外国語学部教授、認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事

李 炯植氏 NPO法人Learning for All代表理事

出口 真紀子氏 上智大学外国語学部教授

下地 ローレンス 吉孝氏 ハワイ大学マノア校客員研究員

[コメント]

友常 勉氏 公益財団法人東京都人権啓発センター理事、東京外国語大学大学院国際日本学研究院教授

山田 真氏 小児科医、八王子中央診療所

- 5 参加料 : 無料
- 6 参加方法 : 申し込みは不要です。当日、「公益財団法人東京都人権啓発センター公式 YouTube チャンネル」からご覧ください。
<https://www.youtube.com/channel/UCc7UZAIQH7QZdckjJhL7miA>
- 7 情報保障等 : 手話通訳、UD トークあり
- 8 主催 : 公益財団法人東京都人権啓発センター
- 9 後援 : 東京都、東京法務局、東京人権啓発企業連絡会

【問合せ先】

(公財)東京都人権啓発センター普及啓発課 鈴木、林、八木、村上
電話03-6722-0085 (直通)